

事務事業名 畜産飼料等価格高騰対策事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：2011

施策：	12	農林業の振興	財務コード	01050105-06-853
基本事業：	01	農業の持続的経営への支援と担い手づくり	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	地域計画策定集落数（計画期間内累計） 新規就農者数（計画期間内累計） 認定農業者数		担当課	農政課
			担当係	農政担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	令和04年度 ~	新規・継続	継続	会計区分		実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
畜産農家（牛生産農家7戸、養鶏農家3戸）		飼料や燃料費等の物価高騰への対策として、頭羽数に応じて支援金を支給する。  < 支援金の単価 > 乳用牛 12,000円/頭 肉用肥育牛・繁殖牛 10,000円/頭 採卵鶏 4,000円/100羽				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		令和6年度実績 乳用牛 228頭、肉用肥育牛・繁殖牛 498頭、採卵鶏36,600羽 支援金計 9,180,000円				
飼料価格等の高騰により経営に影響を受けている畜産農家に支援金を支給することで、経営の安定化、生産性の向上を図る。						

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
支援した農家の割合	%	90	90		100			
5. コスト								
事業費	計	千円	9,080	9,180	10,044	10,044		
	国	千円	9,080	9,180	10,044	10,044		
	県	千円	0	0		0		
	地方債	千円	0	0		0		
	その他	千円	0	0		0		
	一般	千円	0	0		0		
正職員人工数	人工		0.1	0.1				
正職員人件費	千円		802	838				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	9,080	9,982	10,882	10,044			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）	< 状況 > 支援対象畜産農家10戸に対して、9戸へ支援金を支給したことで、経営の安定化に繋がっている。 < 原因 > 全畜産農家へ説明を行ったが、1戸が辞退した。 < 課題 > 未だに飼料等の価格高騰は続いており、継続した支援が必要である。

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）			
対象動向	維持	類似事業	なし
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし
成果向上余地	中程度		

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）	改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）	

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄
畜産飼料は、外国産の輸入に依存しており、ウクライナ情勢や円安に伴う輸入原料価格高騰により、飼料価格が高騰し畜産経営を圧迫している状況であり、飼養や出荷にかかる経費が高止まりの状態では横ばいに推移している。	本事業は、令和4年度から開始し、牛10,000円/頭、鶏4,000円/100羽の単価で支援したが、乳用牛と肉用牛1頭当たりに係る年間経費が違ふことから、令和5年度から、1頭当たり乳用牛12,000円、肉用肥育牛・繁殖牛10,000円に単価を見直した。